

2009年2月13日

特定非営利活動法人ファザーリング・ジャパン

リターンは子どもたちの笑顔！ファザーリング・ファンド事業開始
第一弾は父子家庭支援の フレンチトースト基金 を創設
～定額給付金を父子家庭に！～



「子どもたちの笑顔」をもっと増やしたい。そのためには父親が育児に積極的に関わり、子どものいる暮らしを楽しむことです。特定非営利活動法人「ファザーリング・ジャパン (Fathering Japan=“FJ”)」では、この「育児を楽しむ、笑っている父親」を増やすことを事業目的とし、仕事と生活を両立させ、父親であることを楽しみたい人たちを支援する活動を行っております。

昨年は100回を超えるファザーリング・セミナー、パパによる絵本読み聞かせ講座、父親料理教室、父子キャンプ、そして1,000人以上の受験者を集めた「子育てパパ力(ちから)検定」などの各種事業を展開。それらを通して、家庭、地域をはじめ自治体、企業等でも父親育児への関心がますます高まり、男性の両立支援へのサポートニーズが非常に高いことを実感しました。またFJに限らず、多くの子育て支援NPOにおいてもパパ向け育児講座などの父親支援事業を展開するようになっており、FJとしては個人だけでなく、こうした目的を同じくする団体への支援の必要性も感じております。

これらの背景を踏まえ、父親の子育て支援事業をさらにダイナミックに推進すべく、この度FJの新事業として、父親支援基金「ファザーリング・ファンド」を創設することにいたしました。ファザーリング・ファンドとは、個人や企業、自治体などから寄付や出資・融資等で集めた資金を、父親育児やその関連分野の個人および団体に寄付や出資・融資などで助成していく基金事業です。サポート先となる父親育児関連は分野や領域が多様であることから、それぞれのテーマ・対象に合わせた個別の基金を企画し運営していく形態をとってまいります。

そしてこの度、その第一弾として、父子家庭支援を目的とした「**フレンチトースト基金**」(父子家庭支援基金)を企画しましたので、ここにお知らせ申し上げます。「フレンチトースト基金」とは個人や企業・団体から寄付金を募り、それを主に父子家庭および父子家庭を支援する団体へ寄付するというものです。寄付を受ける父子家庭の審査要綱に父親が書く「私の子育て」という作文を加えること、受給終了後にも「どのように子育てが変わり子どもの笑顔が増えたか」などの感想文や「子どもが描く父親の似顔絵」を提出してもらうなど、FJらしい取り組みも入れております。

ところで、この「フレンチトースト基金」の原資は個人からの寄付がメインとなりますが、国の緊急経済対策の一つである**定額給付金(総額2兆円)**が仮に給付された場合は、この基金にその一部でも寄付いただければとFJでは考え、広く一般に呼びかける予定です。

「税金は本当に困っている人のために使ってほしい」、「次世代（子どもたちの未来）への投資が必要だ」、「自分のお金を有効に使いたい」、「投資の配当（見返り）は金銭だけではない」、「社会貢献をしたい」という個人や企業のお金への考え方が、ここ数年で大きく変わり、昨今のサブプライム問題による金融破綻やリストラ続出などという社会現象がそれを加速させている感があります。

この「お金の使い方のパラダイムシフト」（＝定額給付金への批判や金儲け主義の終焉）と「父親育児への関心やサポートニーズの高まり」をマッチングさせ、それを「シングルファザーの笑顔を増やす→子どもの健全な成長」につなげる。さらに基金事業を通して父子家庭の現状やシングルファザーたちの困窮が可視化されることにより社会全体の関心が高まり、行政への政策提言や「資金面以外に本当に必要とされている支援」の具現化につなげていくことも、当基金のもう一つの目的としたいと思えます。

《NPO 法人ファザーリング・ジャパン代表理事：安藤哲也のコメント》

笑っている父親を増やすためにこれまで2年間FJで活動してきましたが、笑いたくても笑えない状況の父親がいることにも気が付きました。そのひとつがシングルファザーです。FJ会員にもいますが、死別や離別によって突然父子家庭になり、たちまち困った状況に追い込まれ笑顔を失っている父親が多いことに気が付きました。父子世帯への児童扶養手当支給がないなど行政支援が乏しい現状、また企業や地域など社会全体の父子家庭（シングルファザー）への理解と支援も薄い。それによって仕事と育児の両立の難しさ（残業や休日出勤、出張がままならないなど）から離職せざるを得ない、あるいは景気後退によるリストラなどで収入減に直面している男親は数多くいるとみられます。

FJではそんな父親たちを応援するために今回「フレンチトースト基金」を立ち上げます。寄付者は限定しませんが、できれば普通家庭で収入も高い父親たちに強く呼びかけたい。父親であることの楽しみや苦労は普通家庭も父子家庭も一緒のはず。父親同士で支え合うという構図（父親同士の連帯）ができることをFJは期待します。

◆ フレンチトースト基金概要 ◆

ファンド名	フレンチトースト基金（父子家庭支援基金）
主催	NPO 法人ファザーリング・ジャパン http://www.fathering.jp
資金源（資金の出し手）	個人および企業・団体からの寄付
募集期間	2009年4月1日～2009年9月30日
目標額	1億円
資金用途先（資金の出し先）	父子家庭への給付、および父子家庭支援団体への寄付。給付額は、父子家庭は毎月4万円（1年限り）と、お子さんの誕生月に5万円（子ども一人につき）。団体は100万円（年1回）
受給資格	・個人は年収300万円以下の父子家庭で、子の年齢が小学校3年生まで。ただし父子のみで構成される家庭（祖父母同居は除く）。エリアは全国。 ・団体は事業内容・組織概要等を申告。それぞれ申請書類提出の上、基金運用委員会による審査で承認された家庭および団体に適用。
個人申請書類（受給前）	①戸籍謄本②住民票（世帯全員のもの）③収入証明書（前年度）④家族の写真⑤お父さんの作文「私の子育て」
審査	基金運用委員会にて審査。必要な場合は面談もあり。
個人報告書類（受給後）	①お父さんの作文（題自由）②お子さんが描いたお父さんの似顔絵
給付開始日	2009年10月～（予定）
運用報告	1年に1回。HPなどで報告。また寄付者・給付者を集めたイベントを開催。
寄付金振込先	未定（口座開設中）
申込法及び詳細	http://www.fathering.jp/ff/ft/ （後日オープン）

Q) なぜ基金名が、フレンチトーストなのか？

父子家庭のリアルな姿を描いた映画「クレイマー・クレイマー」(1979年・米)の中で、主人公の父親が慣れない手つきで子どもに最初に作った料理がフレンチトースト。仕事一辺倒で家事に不慣れなシングルファザーの象徴のような「フレンチトースト」を基金名にしました。当基金の配当は、世界で最も価値のある宝物、「子どもたちの笑顔」です。

.....

☆FJ フレンチトースト基金 創設記念シンポジウム 開催決定！

「父子家庭に笑顔を。シングルパパもファザーリング！」

- ・日時：2009年4月12日(日) 13:30～16:30(予定)
- ・場所：女性と仕事の未来館 ホール(東京・田町)
- ・内容：父子家庭は公的経済支援が極めて少ない一方で、景気後退のあおりを受けて困窮している父子家庭が多くなってきました。父子家庭の実態を明らかにし、父子家庭の経済的支援を目的とした「フレンチトースト基金」の概要などを紹介するシンポジウムです。
- ・登壇者：未定(FJのHPなどで追ってお知らせします)

《このリリースに関する報道関係の方からのお問い合わせ先》

- NPO 法人ファザーリング・ジャパン TEL: 050-8884-4252 e-mail: info@fathering.jp 担当: 安藤
- ※事務所不在の場合は、携帯電話まで 090-4759-3994 (安藤)

